校報
雪椿

令和元年１２月２７日

No. ２４４

福島県立只見高等学校
住所　南会津郡只見町大字只見
字根岸 2358
電話　0241-82-2148

只見高校３学年委員長　坂内　順子



毎日少しずつ寒さが増し、卒業まであと数か月を残す事となりました。

高校入学を期に、気候の温暖な静岡から主人の故郷である只見に帰ってくることとなり、新しい環境に上手く馴染めるのか親子共々不安でした。雪のまったく降らない所から急に雪深い所に来たので雪に慣れない息子は毎年骨折してしまい苦労しました。学校生活は山村留学生も多数いて気負うことなく、すぐ友人ができ楽しい学校生活を送ることができたようです。

静岡の中学校はクラス３２名程で７クラスもあったので、先生も一人一人に目を配るのはとても大変そうでした。只見高校では１クラスの人数が少ないこともあり、きめ細やかな指導をして頂けたと思います。一年生の時から、将来に向けたビジョンの構築をするという学校の方針は素晴らしいと思います。自分の個性・能力を見極め分析するという力を身に付けることができたと思います。

三者面談の際、先生のお話を伺っていると、息子の性格や勉強への取り組み方等、私の思っている事と同じ事をおっしゃっているのには本当にびっくりしました。多分他の生徒さんの事も同じように理解しているのだと思いました。そういう３年間があったからこそ、息子も最初は自分が何をしたいのかわからなかった様ですが、徐々に進むべき道を探しながら現在に至ったと思います。先生方の温かい御指導に本当に感謝しています。

只見高校に行くといつも感心するのは、出会う生徒全てが笑顔で大きい声ではきはきと挨拶をしてくれる所です。挨拶は社会に出て一番大切な所だと思います。基本的な事がしっかり出来て素晴らしいと思います。これからも紆余曲折しながら少しずつ大人になっていくのでしょうが、只見高校で学んだことを糧にして、自分の人生をしっかり歩んでほしいと心から願っています。

三宅実美さんが税の作文で田島税務署長賞を受賞しました！

本校１年１組の三宅実美さんが「税に関する高校生の作文」において、田島税務署長賞に選ばれました。今回は受賞の感想などについて、同じクラスの報道出版委員である、梁取ゆずさんにインタビューをしてもらいました。

Q.受賞したときの感想は？

A.まさか自分の書いた作文がこのような賞を頂けると思っておらず、驚くと同時に喜びを感じています。

Q.作文を通して学んだことは？

A.「税の作文」を書くにあたり、税について改めて調べてみると、私が思っていたよりも様々な場面で税金に助けられていることを知りました。



１月の行事予定

6 日(月) 仕事始め
8 日(水) 校内センタープレ(～9)
10 日(金) 始業式・課題テスト
18 日(土) 各種模試(1・2 年)
18 日(土) センター試験(～19)
25 日(土) 学校開放
28 日(火) 3 学年学年末考査(～31)
31 日(金) 先輩の話を聴く会

部活動大会結果報告

卓球部　新人戦県大会（１１/１８）　於 押切川公園体育館

男子シングルス　長谷川晃裕（１回戦敗退）
女子シングルス　布沢翔月（１回戦敗退）

バレーボール部　新人戦地区大会（１２/６～８）　於 会津学鳳高等学校

ブロックリーグ　葵　１－２（●）
順位決定リーグ　坂下　２－０（○）　喜多方桐桜２－０（○）　会津２－１（○）
　　喜多方東１－２（●）　喜多方０－２（●）

結果：９位（県大会出場）

ふくしま駅伝に参加しました。



当日走者として参加した目黒楓華さん（２年生）にインタビューをしました。

Q：練習中大変だったことはありますか。
A：本格的な練習は９月上旬あたりから始めました。ハードな練習が続くと自分の中で負の感情が出てきてしまうこともあり、モチベーションを維持することがつらい時もありました。「自分との闘い」という面が一番の課題だったと思います。

Q：当日の感想を教えてください。
A：駅伝当日もまさに「自分との闘い」でした。周りの空気に圧倒され、いつも通りのアップができないこともありましたが、「集中しよう」と心に決めて自分自身の気持ちを高めようとしました。
気持ちを高める上で、沿道からの応援には大いに助けられました。
チームメンバーや知り合いの声が背中を押してくれました。応援のおかげで良いパフォーマンスもできたと思います。

Q：駅伝を終えての感想を教えてください。
A：駅伝を終えた今、何事も早めに動き出すことの大切さを実感しています。走ることに限らず、何事も準備をしっかりしてこれからの高校生活を送っていきたいと思います。



←参加した２年生　鈴木美羽さんと目黒楓華さん
２人は陸上競技部に所属し、日々二人三脚で練習に励んでいます。



進路決定状況（12月9日現在）



進学	四年制大学	国公立	福島大学（行政政策学類）	
		私立	郡山女子大学（家政学部） 城西大学（経営学部） 流通経済大学（社会学部）	国士館大学（理工学部） 拓殖大学（国際学部） 宮城学院女子大学（教育学部）
	専門学校		日本調理技術専門学校（２名） 静岡電子情報カレッジ 日本外国語専門学校 仙台ビューティーアート専門学校（２名） 国際トータルファッション専門学校 cpa 会計学院 テクノアカデミー郡山 仙台医療秘書福祉専門学校 福島介護福祉専門学校	郡山健康科学専門学校 晴陵リハビリテーション専門学院 千葉こども専門学校 仙台ウェディング&ブライダル専門学校 仙台スイーツ&カフェ専門学校 ペット&アニマル専門学校 国際ビューティ＆フード大学校 関東工業自動車大学校（２名）
就職	公務員		南会津町広域消防（２名）・只見町職員	
	民間企業	県内	株式会社会津工場	株式会社　昇栄
		県外	社会福祉法人　涼風会	株式会社 MY コミュニケーションズ

進路説明会を開催しました。

11月20日（水）、1学年の生徒向けに進路に関する説明会を開催しました。

説明会では、自分の進路についての考えを深める際に、どのような道筋を立てていけばよいのか、具体的に希望する進路実現に向けてどのように働きかけていけばよいのかなどということを教えていただきました。希望する進路別に、少人数グループで開かれた分科会もあり、生徒は積極的に質問をしながら話に聞き入っていました。以下、参加した生徒の感想です。



・自分が本当に挑戦したいことを見つけるために、自己分析をもう少し徹底して行う必要があると思いました。
・「なぜ」ということを常に念頭に置いて、自分の目的を明確にすることを意識して学校生活を送っていきたいです。
・自分自身を、自信を持ってアピールできるように、様々な経験を積んでいきたいです。
・大学生活を具体的にイメージすることができました。進学への熱が高まりました。

合格体験記



この2学期中に推薦や一般受験で多くの生徒が合格、内定をいただきました。
そのなかから代表して4人の生徒に合格体験記を書いてもらいました。

（右の写真は左から、五十嵐美月さん、渡部美依さん、目黒佳祐くん、横山大輝くん）

この度、宮城学院女子大学に合格しました渡部美依です。私はＡＯ入試で受験しました。１次試験ではプレゼンテーション、２次試験では面接と小論文を行いました。先生方に、プレゼンテーションや面接練習、小論文の添削を繰り返しして頂き、合格することができました。ありがとうございました。

受験を終えて大切だと思ったことが２つあります。１つ目は、正しい言葉を遣うことです。面接で緊張してしまうと、日常的に使っている言葉が無意識に出てきてしまいます。日常から正しい言葉を遣うことによって、本番焦ってしまっても間違った言葉を遣うことが減ります。２つ目は、職員室等の入室の仕方です。面接では礼法も採点されます。職員室に入る際に、３回ノックをし、はきはきと自分の名前、用件を言うようにしてみてください。そのような小さなこと１つが、面接の際にとても大切になってきます。日常から小さなことを意識して行動することが改めて大切だと実感した受験でした。　（渡部　美依）

この度、福島介護福祉専門学校介護福祉学科に合格しました横山大輝です。私は以前から介護に興味があり、高齢者と話をすることが好きなので将来は介護福祉士になりたいと思い、受験しました。この専門学校は介護福祉士の国家資格の他に、社会福祉主事、レクリエーションインストラクターの資格を得ることができるということで、幅広く福祉関係の仕事に就くことができるなと思いました。試験内容は、個人面接でした。面接練習では、先生方にいただいたアドバイスをノートにまとめて、家に帰ってから何度も練習しました。私は将来的には地元只見町で仕事をしたいと考えています。今まで野球部など様々な面で後押ししてくれた只見の皆さんに恩返しをしたいと思います。今後、面接試験を考えている人は、今からでも意識して言葉遣いや態度に気をつけていくべきだと思います。　（横山　大輝）

この度、株式会社会津工場から採用をいただきました五十嵐美月です。私は進路を決定していくにあたって進路が二転三転と変わってしまいました。そんな時、私が地元で就職を決心したのは、今年の夏に高齢者の父が病気になったのがきっかけでした。タイ人の母と高齢の父を残すのは不安があったので、地元で就職して両親を支えたいと思いました。急な進路変更をしてしまったので、時間が無く、緊張しやすいので面接練習にはとても苦戦しました。このように、進路決定が急だと準備時間が少なくなり大変です。進路決定は早めに行って、私のように意志がぶれないように注意するのが良いと思います。　（五十嵐　美月）

この度、南会津広域消防から内定をいただきました目黒佳祐です。私は昨年の２月から本格的に公務員の学習を始め、最初は自分が思うような点数が取れませんでした。しかし、４月にある先生との出会いで、私の成績は良くなり、その先生との出会いがなかったらここまで成長することはできなかったと思います。夏休みは公務員対策講座に参加し、解答のコツや問題の出題傾向などを学んできました。また、面接練習と小論文対策においては、学校の先生から多くのご指導をいただきました。私には消防に関する知識や経験はないので、まずは消防学校に行き、たくさんの事を吸収したいと考えています。「実務教育」や「訓練」など厳しいと思いますが、仲間と切磋琢磨して立派な消防士になりたいと思います。　（目黒　佳祐）